

指導技術		観点別の授業改善の視点			
教師の指導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導等)		関心・意欲・態度を向上させる手だて	発想や構想の能力を向上させるための手だて	創造的な技能を向上させるための手だて	鑑賞の能力を向上させるための手だて
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席、チャイム着席確認 ・本時の目標を確認 ・作業の手順と評価について説明 ・前回までの生徒の進捗状況を再度確認し、残りの作業時間を確認 ・持ち物チェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを説明し、ポイントを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターを避け、オリジナルの良さを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自習課題への積極的参加により表現力を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術史の課題学習を行う。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の指導者側の達成目標を板書 ・生徒は個人目標を決め制作開始 ・個人指導によるアドバイスと進行状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同制作を通し互いに学び、良い意味でのライバル心を育む。 ・題材への個人指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ席、観賞タイムの導入などから他の生徒からも学ぶ機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞タイムの導入により多くの刺激を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内に3分間、鑑賞タイムを入れる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の確認 ・目標達成の確認 ・本時の生徒の様子を評価 ・次回の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標が達成されたかを自己評価させる。 ・本時の活動に対する感想を記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアの優れた作品を紹介し、他の生徒の意識向上につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的技能の向上に努力している作品を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品の校内展示をする。 ・作品メッセージを導入する。